

## 社会に向き合う① ~省エネ・CO<sub>2</sub> 排出量削減に取り組む~

店舗の営業にはたくさんのエネルギーを必要とします。最も使用が多い「電気」使用量の内、5～6割を占める冷蔵・冷凍設備、1～2割を占める照明を中心に省エネを進め、CO<sub>2</sub> 排出量の削減に努めています。

### 冷蔵・冷凍ショーケースの工夫

ショーケース内部には、従来、各棚に照明が設置されていましたが、ケース全体を外側から照らす照明に替え、本数を減らしています。また、発熱量が少ないLED照明にすることで、冷蔵・冷凍設備への負担を減らし、省エネを図っています。その他にも、冷気を逃がさないよう、冷凍ショーケースに扉を設置し、消費電力を1割～4割削減しています。扉のないショーケースにはカーテンが付いており、夜間は閉めて冷気を閉じ込めます。



### LED 照明

蛍光灯に比べ消費電力の少ないLED照明への切り替えを進めています。これまでに106店舗に導入し、約9割の店舗で切り替えが完了しました。対象の店舗では、店舗全体の電気使用量を約10%削減することができました。



### デマンド監視装置

2015年より、電力需要監視装置を導入し、現在約7割の店舗で活用しています。使用電力が目安の数値に近づくと警報が鳴るので、店長が予め定めた機器類の電源を停止させる仕組みです。導入した店舗では、それ以前に比べ、需要が最も高い夏場の電力需要が前年比約94%になりました。



### 太陽光発電

成城店、横浜岡野店、野沢龍雲寺店では、建物壁面に設置したソーラーパネルで発電し、店舗の一部照明に使用しています。発電電力量は店内のモニターで確認することができます。



### CO<sub>2</sub> 冷媒の採用

冷蔵・冷凍設備に使用する冷媒ガスには、これまで一般的に、フロンガスや代替フロンガスが使われてきました。しかし、フロンはオゾン層破壊の原因、代替フロンは地球温暖化の一因である温室効果が高いとされ、近年では、人工的合成物質ではない「自然冷媒ガス」が注目されています。当社では2018年より、一部店舗にて、自然冷媒であり、代替フロンよりも温室効果が低いCO<sub>2</sub>冷媒ガスの使用を開始しました。今後、技術的な課題を検証し、更なる導入を検討します。

### 2019年度電気使用量

全店の使用量……………205,377,610kwh  
原単位当り(※)の使用量……………0.103kwh/m<sup>2</sup>・h  
※店舗面積1m<sup>2</sup>・1営業時間当り

#### ■原単位当り電気使用量('05年度比)

